

2021年3月2日
サンコーテクノ株式会社

東京都交通局が高性能の呼気アルコール検知器導入で安全性向上 高精度センサーによるアルコール測定と顔写真撮影で本人確認

東京都交通局（本局：東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 / 交通局長：内藤 淳）が運営する都営地下鉄において、サンコーテクノ株式会社（本社：千葉県流山市南流山三丁目10番地16 / 代表取締役社長：洞下 英人）製の呼気アルコール検知器『ALC Face ST-2000』が採用されたことをお知らせします。

昨今、物流・交通業界では、飲酒に関する規制が強化されており、2019年には鉄軌道運転士の飲酒に関する基準等が改正・施行され、鉄軌道運転士においては、アルコール検知器による酒気帯びの確認が義務化となりました。

東京都交通局では、基準等が改正・施行される以前より、アルコール検知器による酒気帯びの確認を実施していました。同局では更なる安全性向上のため、酒気帯びの確認時に使用するアルコール検知器に求める性能として、精密な濃度測定が可能であり、精度の高い測定方式を用いていることのほか、酒気帯びの確認により万全を期すため、①検査実施時に通信機器を使用しないもの（通信不良や停電等の影響を避けるため）、②本人確認のための静止画撮影ができるもの、③測定時間および測定値が確認・保存できるもの、という3つの条件を新たに設けました。そして、これらの条件を満たす機器として、サンコーテクノ社製の呼気アルコール検知器『ALC Face ST-2000』が採用されました。

東京都交通局では、都民やお客様の信頼に応えるため、「安全・安心が最優先」という考えのもと、日々、安全を守るための取組みを見直し、改善・実行されており、今回採用された機器については、都営地下鉄の各駅に配備（全103台）され、順次運用が開始される予定です。

■測定風景



■製品概要

製品名：呼気アルコール検知器 ALC Face ST-2000



本製品は、高精度の燃料電池式センサーを搭載しており、測定時には専用のマウスピースを使用するため、正確・精密なアルコール測定が可能です。また、検知器本体にはカメラとプリンターが内蔵されており、測定結果とともに測定者の顔写真がプリントアウトされるため、信頼性の高い測定記録の保存ができます。

■製品に関するお問い合わせ先

サンコーテクノ株式会社 機能材 CRM（フリーダイヤル） Tel. 0120-071-735

■プレスリリースに関するお問い合わせ先

サンコーテクノ株式会社 経営管理本部 経営企画グループ（池田・田中）

Tel. 04-7178-6530（直） / Mail. st-webmaster@sanko-techno.co.jp

本プレスリリースは、これまでに弊社広報担当と名刺交換をさせていただいた報道関係者にお送りしております。

なお、国土交通省交通運輸記者会に投函済みです。

今後、弊社プレスリリースをご希望されない場合は、お手数ですが上記のお問い合わせ先までご連絡くださいますようお願い申し上げます。